

1 徳川義直は、今から400年前、長い戦国の時代を終わらせ、天下統一を果たした人です。尾張徳川家初代の義直は、徳川家康の九男として1600(慶長5)年11月に生まれました。関ヶ原の戦いがあった2ヶ月あとでした4歳にして甲州(山梨)府中の城主として24万石を領しました。1607(慶長12)年に兄の松平忠吉(家康の四男)の後をうけて清洲城に移り、尾張の領主となりました。1614年義直は、大坂冬の陣で初陣を飾りました。1610年、家康は名古屋城の築城を開始し、1615(慶長20)年4月に完成させました。江戸時代、尾張徳川家は、尾張を中心にして61万9,500石の領地をもっていました。

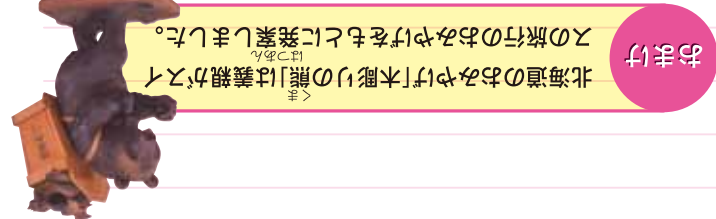


徳川家康は、今から400年前、長い戦国の時代を終わらせ、天下統一を果たした人です。尾張徳川家初代の義直は、徳川家康の九男として1600(慶長5)年11月に生まれました。関ヶ原の戦いがあった2ヶ月あとでした4歳にして甲州(山梨)府中の城主として24万石を領しました。1607(慶長12)年に兄の松平忠吉(家康の四男)の後をうけて清洲城に移り、尾張の領主となりました。1614年義直は、大坂冬の陣で初陣を飾りました。1610年、家康は名古屋城の築城を開始し、1615(慶長20)年4月に完成させました。江戸時代、尾張徳川家は、尾張を中心にして61万9,500石の領地をもっていました。

徳川家康と徳川義直

ご訪問先

2 徳川美術館を創設した徳川義親
義親は21歳で尾張徳川家の19代当主になり、34歳の時にマレー半島を旅行し、初めて虎狩りをして、「虎狩りの殿さま」として有名です。大正から昭和の初め、多くの大名家が関東大震災や経済不況などで、家の大切な宝物や道具を売りに出しました。義親は文化財として尾張徳川家の財産を残すため、個人所有をやめて財団法人に寄付しました。さらに、義親は昭和10(1935)年、名古屋に美術館を建て、一般に公開しました。日本では3番目の美術館であり、超近代的な設備を備えた美術館として、国内外の話題となりました。



徳川美術館を創設した徳川義親

ご訪問先

3 具足飾り
大名の鑑・兜は、武士の大将として強さと品格に満ち、贅を尽くし、美しく見せるように作られました。この展示ケースには、江戸時代に尾張徳川家で、毎年正月11日に城の中の夜居間と呼ばれる部屋において、鑑・兜を飾り、その年の幸運を祈る「具足始め」の行事の飾り付けに基づいて展示しています。鑑・兜の右手後ろには「馬標」が掲げられ、「馬標」は、大將のいる場所を示すしるしでした。また、鑑・兜の後ろに掲げられた葵紋付きの大きな旗は、「馬標」と同じ役目があり「鑑」と呼んでいます。



第1展示室

ご訪問先

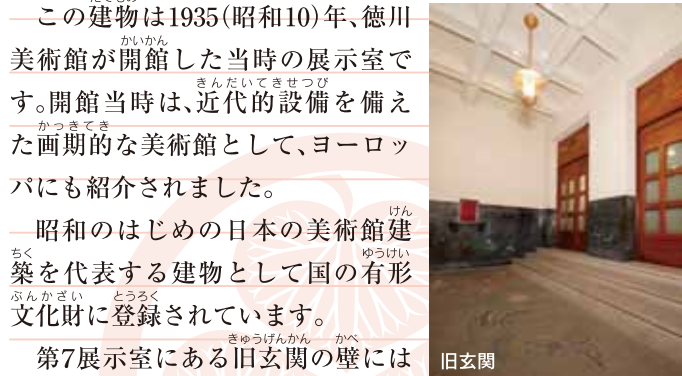
4 猿面茶室
大名の城や屋敷にはお客様をもてなすための茶室がありました。この茶室は名古屋城にあった「猿面茶室」を復元しています。「猿面」の名は、床柱の上部が猿の顔に似ているところから名付けられたと言われています。



第2展示室

ご訪問先

本館 第7~9展示室
この建物は1935(昭和10)年、徳川美術館が開館した当時の展示室です。開館当時は、近代的設備を備えた画期的な美術館として、ヨーロッパにも紹介されました。昭和のはじめの日本の美術館建築を代表する建物として国の有形文化財に登録されています。第7展示室にある旧玄関の壁には草花や水辺のデザインが施されています。このデザインの中には「は・い・め・い・か・い」という文字が隠されています。



旧玄関



展示室内

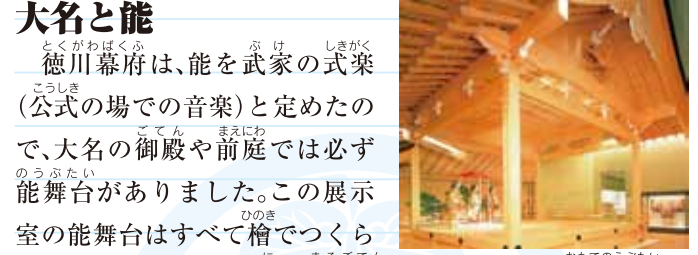


外観

ここでは雛まつり展(2~4月)をはじめ、さまざまな展覧会を実施。建物も見てみよう。

7 文化庁 平成22年度美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業

第4展示室
大名と能
徳川幕府は、能を武家の式楽(公式の場での音楽)と定めたので、大名の御殿や前庭では必ず能舞台がありました。この展示室の能舞台はすべて檜でつくられています。名古屋城二の丸御殿のなかにあった表能舞台を再現しています。



おもてのうぶたい



よめい どうぐ

ご訪問先

第3展示室
書院飾り
第3展示室の黄金色に輝く広間は、名古屋城二の丸御殿にあった「広間・上段の間」という部屋です。ここは殿様が仕事をしたり、お客様と会う場所です。室内の中央が押板飾り、向かって右が違棚、左が書院床という飾り付けです。



書院床 押板飾り 違棚



三具足

5

THE TOKUGAWA ART MUSEUM

徳川美術館へようこそ
一步近づく 徳川美術館

このガイドブックと一緒に 徳川美術館の作品を見ていきましょう。



徳川美術館

名古屋市東区徳川町1017 Tel.052-935-6262

ホームページ <http://www.tokugawa-art-museum.jp/>

よしなおくん <http://www.yoshinao.net>

土曜日は小中高生の入館料無料。「土曜子ども教室」を開催。